

囲碁入門講座通信 令和3年 第32号

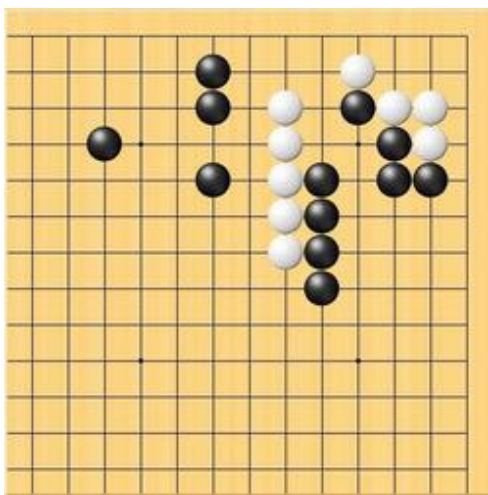


報告:有楽斎

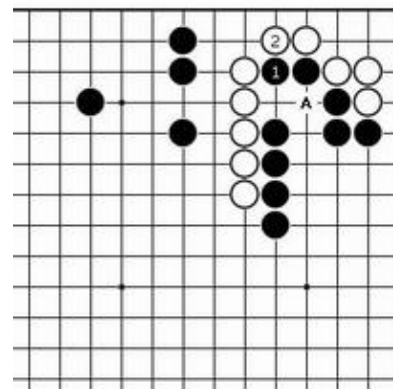
毎月第二日曜日の午後1時半から午後4時ごろまで、朝日2丁目集会所で「囲碁入門講座」に、それなりに一所懸命取り組んでいるのですが、新型コロナウイルス感染を防ぐために、「三つの密」密閉・密集・密接を避けがたく、まことに口惜しいところですが、**現在休局中**です。(棋士名は碁に因んだ名をニックネームとして表記しています)

今号も、入門者用に詰碁の練習問題を少々ご案内したいと思います。(監修:太神楽(だいかくら)師匠)
あっと驚く“魔法の手筋”を実戦で使いこなすために・・・

手筋問題4 黒番 白石を分断してください。

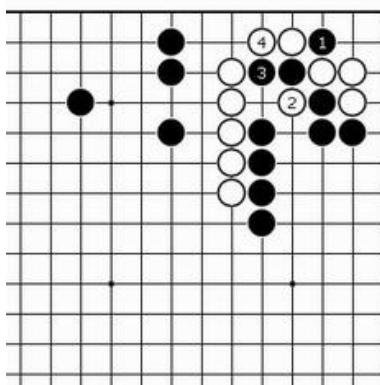


ヒント 実戦では黒1と打って、白を連絡させてしまう人が多いでしょう。もう一步、踏み込みます。



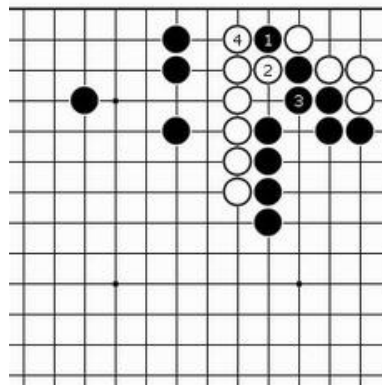
正解と解説

問題4 失敗図



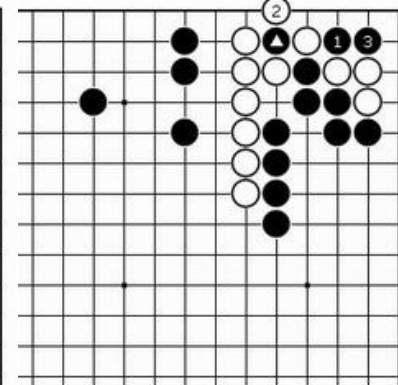
黒1はよくある手筋ですが、都合よく白4とは打ってはいけません。白2から4と打たれて失敗です。逃げた黒石2子と黒1の1子は、どちらかが見合いで取られています。

問題4 正解図1



正解図1 黒1とこちらにハネ出します。白は3に切る手が成立しないので、白2から4と打って黒1子を取ります。そこで黒は、次図…

問題4 正解図2



正解図2 もうだれでもわかりますね。黒1、3で白3子が取れています。似たような形でも、本題のように黒▲にハネ出すのか、それとも黒1に切り込むのか、正解は周囲の状況次第で変わります。

問題は、囲碁上達法(詰碁)より引用しました。次号は5月20日発行予定です